

かけはし 273

平成28年7月20日(第5号)

“273”とは南郷中の全校生徒数です

校長 野口 司

046-875-9494

21日から夏休みに入ります。ある企業による3年ほど前の調査ですと、中学生の約70%の人が「忙しい」「もっとゆっくり過ごしたい」と感じているという結果が出ています。考えてみると、子どもたちにとって夏休みは、大人のリフレッシュ休暇と同じような意味合いがあるのかもしれませんが。また、同じ調査の中で「時間を無駄に使っている」と約65%の人が答えています。夏休みは子どもたちの主となる居場所が学校から家庭に戻り、時間的にも余裕が生まれるのではないかと思います。この余裕を有効に活用することができれば大変意味のある夏休みになると思います。逆に、生活習慣が大きく乱れ、結果として夏休みがマイナスになってしまう場合も考えられます。長い40日間の休み、事故等に気をつけて、一人ひとりにとって有意義な夏休みにしてほしいと願っています。

そして、夏休みをどのように充実して過ごすかが、それぞれの学年において大変重要になってきます。とりわけ、3年生にとっては、この期間をどのように過ごすかが9月以降大きく影響し、自らの進路選択に関わってきます。一人ひとりが目標に向かってしっかりと努力を積み重ねてください。2年生は、3年生が生徒会活動・部活動など様々な活動から退いていく中で、南郷中のリーダーとしての動きをつくっていく時期だと言えます。さらに1年生にとっては、これからの中学校生活2年半を乗り切っていくための基礎をさらに固める時期です。

学校では「夏休みのしおり」を作成し、学級指導・学年集会等で休業中の過ごし方についての指導をしていますので、ご家庭でもぜひご一読ください。また、夏休みが子どもたちにとって充実したものとなるよう、睡眠や食事の摂り方など健康的な生活習慣が乱れないようにするとともに、事故に遭うことがないように、ご指導をよろしくお願いいたします。

8月30日に、ひとまわりたくましく成長した元気な姿で登校する皆さんに会えるよう心から祈っています。

思春期保健講演会

7月7日、「性と生を大切に」をテーマに町福祉部子ども育成課主催による「思春期保健講演会」を実施しました。この講演会は、2・3年生及び保護者対象に町内2中学校が隔年で行っています。

医療現場において思春期の子どもたちに直接関わり対応されていらっしゃる「今井ウィメンズクリニック医師：今井一夫先生」「横須賀市民病院助産師：村川愛美子先生」から「性」に対する正しい知識を持ち、これからの「自分自身」を大切に、さらに自分と同じくらい「他者」を大切にできるようにするため、「心」と「からだ」の健康を守るため、実際のケース事例を通してお話をしていただきました。以下に生徒の感想を載せました。

少しでも軽い気持ちではダメだと感じました。きちんと詳しいことを知らないと、後になってからじゃ遅いと思います。こういったお話、講演会できちんと知るとはとても大切だと感じました。(3年女子)

あまり興味がなかったのですが、今回の講演を聞いて多くのことを学ぶことができました。改めて命の大切さや命を作る大切さが知れたので良かったです。(3年男子)

今まであまり興味がなかったので知りませんでした。知識がないほど怖いことはないと思いました。赤ちゃんは将来産みたいけど、本当に信頼できる人とならと思います。(3年女子)

今まで分からなかったことを知ることができました。たとえそうなる時があったら一人で抱え込まないで、友だち・先生・親などに相談をしたいと思いました。親などには気軽に聞けないことだったのでお話を聞いてよかったです。(3年女子)

講演を聞いて、自分の身のことはきちんと知っておくことがとても大切だと感じました。知らないこともたくさんあったので、とても勉強になりました。(2年女子)

今回、知らなかったことを知ることができたことが、これから先に役立つことだと思うのでよかったです。また、異性との関わりには気をつけないといけないと思いました。(2年男子)

歴史・文化そして世界平和の世界へ ～修学旅行から～

3年生は、6月20日～22日の2泊3日で、京都・奈良、広島へ行ってきました。

京都・奈良では日本の歴史・文化に触れるとともに、広島では原爆の悲惨さ、そして平和の尊さについて学んできました。また広島では、2日目の夜に元安川の川岸で平和集会を行い、群読・合唱（ヒロシマの有る国で）・灯籠流しを行いました。どの生徒も真剣な表情で厳粛な雰囲気を感じる中、3年生の心が一つになった瞬間だったと思います。

修学旅行も含めて南郷中学校の行事の活動意義には、仲間・集団づくり、計画づくり、約束づくり、計画を実行する力、困難に対する対応力など様々あり、活動を通して普段の生活ではできない課題を自分たちで解決したり、学びの中で身につけてきた力を発揮したり、自ら進んで取り組んで行く力などを育てていったりします。その過程の中では失敗や課題も多くありますが、失敗から多くを学び、失敗は次へのチャンスになり成功へとつながっていきます。そのような繰り返しも活動の意義ととらえています。今後も学校・学年活動の成果や反省を生かして学校生活を送ることができるよう指導を続けていきます。以下に3日間における生徒の感想を掲載しました。

私が修学旅行で感じたことは、奈良・京都・広島で違いました。

奈良で感じたことは昔の技術の高さです。その技術の高さを感じたのは、興福寺国宝館にあった二体の金剛力士像を見たときです。筋肉のつき方や首筋、手のこぶ、足の血管など、細かいところまで丁寧に作られていて今にも動き出しそうな作品でした。

京都で感じたことは日本の自然を大切にしている文化です。金閣寺は金閣、竜安寺は石庭が目目されがちですが、私が印象に残っているのは2つの寺の庭や通路です。どちらも自然を基本として美しく、涼しげな空間でした。私は日本人の自然を好む文化はこういうところからきていると思いました。

広島で感じたことは旅行者と被爆者の温度差です。観光で来る方たちは原爆ドームの前で写真撮影をしたり、平和の鐘を鳴らしたりしていましたが、被爆者の方々は平和記念公園はお墓だと言って、全ての碑に頭を下げていました。私はこの違いを見たとき、この温度差をなくすために被爆者の方々は語っているのだと思いました。展示物だけでは伝わりきれないものがあります。それを伝えるために語り、事実を知ってもらおうとしているのだと思いました。今回行ってみて知らないことがたくさん見つかりました。もっと知識を身につけて広島について語れる大人になりたいです。

3年A組

1日目、私たちは奈良に行きました。私が奈良で一番印象に残った寺は唐招提寺です。唐招提寺の金堂には、薬壺を持たない薬師如来像があったり、千手観音像があったり、前の方に帝釈天などの4体の仏像がありました。好きな仏様・観音像を見ることができたので集中して拝観しました。そして、あることに興味を持ちました。それは、手の印の意味と仏像の表情の相違です。金剛力士像などの武器を持った仏像以外の仏像は、何かしら印を結んでいたり、一見似ているように見える表情も見ている方向や口の開き方が違うなど微妙な違いがありました。写真やパンフレットでは見ることができない仏像が制限されてしまうので本物を見て良かったと思いました。

2日目、京都での見学を終え新幹線で広島に行きました。私は3班だったので、袋町小学校→本川小学校のコースでした。まず袋町小学校では、壁に残された伝言についてのビデオで見た「患者 村上」という伝言を発見しました。ビデオでは、ここに村上さんであろう人物が横たわっていたと聞きました。実際に書いたのは娘さんで大きくてわかりやすい字でした。私はこの字を見て、どうにかお母さんを助けたいという娘さんの気持ちが伝わり、当時の状況を想像することができました。2人の痛みもつらいものだと思います。

3日目、広島平和記念資料館に行きました。遺品はボロボロで、被害を受けた方の写真を見たときは言葉が出ませんでした。そして「こんな目にあうのは嫌だ」と思った自分がいました。最後の方は時間がなくなりあまり見ることはできませんでしたが、佐々木禎子さんが折ったツルを見ました。小さかったけれど、このツルに込められた想いが確かに感じられました。見学後、私は再度、原爆は使っても持ってもいけないと思いました。また、新しい平和記念資料館を作らなくてもいい世界にしていくために修学旅行で学んだことを忘れないようにしていきたいです。

3年B組

修学旅行は、班長・室長・実行委員と係の仕事がとても多く忙しい3日間でした。

1日目の班行動では、京都駅から奈良まで行く際に、乗る電車で迷ってバタバタしてしまったり、昼食に想像以上の時間がかかって遅れてしまったりしました。もともと予定していた金額が高かったにも関わらず、特急でさらにお金がかかってしまったりもしました。時間が遅れてしまったため、東大寺の戒壇堂と薬師寺には行けませんでした。帰りの特急を急行にするなどの工夫をして、予定していた金額を上回ることもなく時間内に旅館へ着くことができ良かったです。

2日目の午前中の班別行動では、北野天満宮で男子が先にバスに行ってしまう、男女ではぐれ

てしまいました。でも、その後の班別行動ではお互いに声をかけ合い、班員全員が一緒にいるかなどを常に確認し合って行動し、はぐれることはありませんでした。一度はぐれて怒られたことは良いこととはいえませんが、怒られたことでその後の班のまとまりが強くなったので、怒られたのも悪いことだけではなかったのではないかと思います。

旅館についてからは、室長と実行委員会の仕事が多く、時間にとっても気をつけて行動していました。それでも忘れそうになることも多く、同じ部屋の人や近くの部屋の班長に声をかけてもらいながらなんとか最後までやることができました。でも、2日目の夜に時間が遅れてしまっているとき、放送を忘れていたわけではないのですが、いつ放送を入れればよいのかわからず結局先生にやらせてしまったのが残念です。

1日目と2日目の午前中で見学した仏像や建築物の中で最も印象に残っているのは、興福寺の国宝館で見た阿修羅像です。少年のような体つきと幼さの残る表情に魅かれました。もともと阿修羅像は大地を干あがらせる太陽神であり、戦いを好む神だったが釈迦の教えによって改心し仏法の守護神になりました。阿修羅像は改心した深い慈悲を表しているそうです。千年以上も前に表情や仕草からここまで表現できたのが素晴らしいと思いました。

2日目の袋町小学校では、ビデオを見ているときや壁の伝言を見ているときに涙が出てしまいました。恥ずかしいという思いもありましたが、自分では体験したことのない昔の様子や当時の人の気持ちを少しでも感じる事ができたと思うことができたので良かったです。夜の平和集会では、群読がとても良かったと思います。一人ひとりが自分なりに精一杯の大きな声で、気持ちを込めて言っていたのがわかりました。また平和集会の最後に、山川先生に「良かった」と言っていただけで本当に聞いていた人の心に響いたかもしれないと思うことができました。

3日目の碑めぐりでは、ボランティアガイドの佐藤政美さんが言っていた「生きている人は1人、2人と数えるが死んだ人は1体、2体と数える。」という言葉が心に残っています。どのような気持ちで言っていたのか私にはわかりませんが、これから先、人を数えるときに意識してみようと思いました。

忙しく、ルール違反や班のまとまりのなさなどの課題もありましたが、歴史を学ぶことができ、平和学習も真剣にできたのでとても充実した3日間だったと思います。この3日間で学んだことを今後の生活に生かしていきたいです。

3年C組

頑張りました

- ◇少林寺拳法神奈川県大会 中学生以下単演の部 最優秀賞
- ◇バレーボール部 逗子葉山中学校総合体育大会 優勝
- ◇バドミントン部 神奈川県中学校総合体育大会横須賀ブロック大会 団体戦優勝(県大会出場)
- ◇サッカー部 神奈川県中学校総合体育大会横須賀ブロック大会 3位
- ◇神奈川県中学校総合体育大会体操競技大会横須賀ブロック大会 7位

平成29年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査の概要が県教育委員会のホームページに掲載されています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160600/p1039404.html>

- * 夏休み明け授業開始日は、8月30日(火)です。
(このことについては、昨年度かけはし3月号、年度当初に配布した年間計画や保護者会等でお伝えしてきました。昨年度までは二期制の導入に伴い8月31日に授業を開始していましたが、教育課程の更なる充実や授業時間確保のため、今年度より一日早めて授業を開始します。)

時間割は ①大掃除 ②全校集会・学活 ③授業 昼食 ④授業 となります。

- * 8月27日(土) 8時~10時の予定で「PTA防犯草刈り」を行います。
ぜひご協力をお願いします。(詳細は、7月6日付PTAからのプリントをご覧ください)
- * 8月31日(水)より、前期末試験一週間前になりますので部活動はありません。